

# 第53回

【地域別】

## 市民と市長のタウンミーティング 報告書



○期 日 平成25年8月17日

○会 場 吉祥寺南町コミュニティセンター

武蔵野市



## ま え が き

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で、地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

この会には、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」、テーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」、そして屋外において実施する「青空タウンミーティング」がごございます。

テーマ別では、「商店街の振興」や「災害に強いまちづくり」「地域で支えあう福祉のまちづくり」「地域で育てよう！武蔵野の子ども」「災害時に試される地域力」などを開催しています。また、学生やシニアの方、外国人の方たちとまちづくりや活躍の場などについて意見交換を行いました。

今回は、吉祥寺南町コミュニティ協議会との共催により、「第53回市民と市長のタウンミーティング」として、武蔵野市の魅力や課題について話し合いましたので、その結果を報告いたします。

今後も、市内の様々な場所で、タウンミーティングを開催していくことにより、さらに多くの意見交換を行ってまいります。

武蔵野市長

**邑上守正**

## 概 要

1. 日 時 平成25年8月17日（土）  
午後2時～4時30分
2. 場 所 吉祥寺南町コミュニティセンター サロン
3. 主 催 吉祥寺南町コミュニティ協議会  
武蔵野市
4. 参加者数 50人
5. 主催側出席者 市 長 邑上 守正  
吉祥寺南町コミュニティ協議会 委員長 小餅 友子  
市民活動推進課 北原 浩平
6. 司 会 吉祥寺南町コミュニティ協議会 西村まり 二階のぶ子  
市民部市民活動担当部長 大杉 由加利
7. テ ー マ 『南町コミュニティ再発見—提案型のまちづくりにむけて—』
8. 当日の進め方 参加者は、1グループ（南町のまちづくり（ハード面））、2グループ（南町のまちづくり（ソフト面））、3グループ（武蔵野市全体の課題）、4グループ（その他（地球環境など））のうち、関心の高いテーマのグループに参加し、討議を行った。そののち、グループ毎にファシリテーターがまとめた意見を発表。市長や全体の参加者とともに意見交換を行った。

## 目 次

1. 発言の要旨	1
(1) 開会のあいさつ	1
(2) 吉祥寺南町のまちづくりについて（要旨）	2
(3) 「南町コミュニティ再発見—提案型のまちづくりにむけて—」をテーマにした 意見交換（要旨）	
1. 外環道路について	4
2. 吉祥寺南口駅前広場整備について	5
3. 民間施設内への公共施設の合築について	6
4. 東部地区への公共施設の配置について	7
5. 末広通り沿いの市有地について	8
6. 末広通りの歩道と車道の段差、歩道橋について	9
7. 積雪対策について	10
8. 行政改革、市民参加、自転車問題、防災について	11
9. ホームレス、コミセンのあり方、環境保護への取り組みについて	13
10. 自転車対策について	14
11. 市民参加について	15
12. 子どもの「ふるさと意識」の醸成について	16
(4) 閉会のあいさつ	17
2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針	18
3. アンケートでいただいた感想	22

— 付属資料 —

第53回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし



## 1. 発言の要旨

### (1) 開会のあいさつ

#### 【市長】

皆様、こんにちは。外は暑いので十分な水分補給をお願いします。

今クーラーが効いていますが、電力の一部は太陽光発電によって賄われています。特にこのコミセンは市が5キロワットの太陽光発電パネルを設置した後に、地域の皆様が同型のパネルを購入されていますので、ご承知おきいただければと思います。

さて、タウンミーティングは、これまで4,000名を超える皆様に参加をいただいて、さまざまなご意見を聞いてまいりました。本日は南町コミセンの皆様のご協力のもと開催できますことを大変うれしく思っています。そして企画の中心を担っていただいていた糸井守さんが急逝をされました。私としては糸井さんといろいろ意見交換をしたいと思っていたところでございますので大変残念であります。謹んでお悔やみ申し上げます。本日は糸井さんからいただいたご提案も掲げられておりますので、皆様にも見ていただきながら、意見交換を行いたいと思います。

タウンミーティングはいろいろな団体と行っております。最近では地方都市の出身の方がお住まいの学生寮で、武蔵野市で暮らして、どう感じどう考えるかというテーマで、また、子育て中や子育て経験のある父親を対象に「おやじの視点から」というテーマでもタウンミーティングを行いました。今日のような地域型も大切なのですが、あわせてテーマや対象ごとにタウンミーティングを行ってまいりますので、こちらにもご参加いただきたいと思っています。また、今日のタウンミーティングは、南町コミセンの皆様がかなり工夫をされているようで、いつもより若干時間を長めにとっております。ただ限られた時間でございますので、ぜひ効率よい意見交換ができればと思っています。



#### 【吉祥寺南町コミュニティ協議会 小餅友子委員長】

こんにちは。お暑い中、お忙しい中、お越しいただきましてありがとうございます。また、市長からお話がありましたけれども、このタウンミーティングの企画の中心でありました糸井さんが、12日の夜に、コミセンからご自宅に帰られたあと急にお亡くなりになりました。ほんとうに突然のことでした。まだまだ頼りにしたい方でしたので、とても残念です。新しいタウンミーティングを目指して糸井さんも含め話し合いをしてみましたけれども、意図していたようにできるかどうか、なかなかつかみ切れてないところがあり、糸井さんから違うぞと言われることもあるかもしれません。その後何回か話し合いをし、こういうかたちにまとめましたので、皆様にご協力をお願いして発言をたくさんしていただきたいと思っています。本日はよろしくお願いたします。



## (2) 吉祥寺南町のまちづくりについて (要旨)

### 【市 長】

限られた時間でございますので、なるべく簡単明瞭にこの地域の特徴と、今動いているさまざまなまちづくりの進捗状況をお話しいたします。

吉祥寺南町は武蔵野市の東南部にあります。武蔵野市域の面積が 10.73 平方キロメートルで吉祥寺南町の面積が約 0.96 平方キロメートルなので約 9%の割合です。あわせて市の人口が 14 万 430 人で、この地域が 1 万 3,489 人ですので、9.6%となります。

したがって、大ざっぱに言うと、南町というのは面積も人口も市の約 1 割といったようなそんなポテンシャルを持っている地域だにご理解いただきたいと思います。

そして、高齢化率でみると吉祥寺南町は 65 歳以上の人口が 3,052 人いらっしゃいますので、22.6%という数字です。武蔵野市の全体の平均が 20.1%ですので、市の中では若干高いほうです。あわせて、武蔵野市全体で単身世帯が多いという話をしておりますけれども、その単身者世帯の数が、南町ではやや多いという結果にもなっています。ちなみに、吉祥寺南町の世帯数は 7,376 世帯で、1 世帯当たりの人数が 1.82 人という数字でございます。武蔵野市の平均は 1.92 人ということでございます。

それから、南側に井の頭公園がありますので、緑豊かなイメージはありますが、実際の緑被率を見ると 16.7%です。市全体が 25.3%ですので、緑はあまり多くないという結果になっています。

南町は大きく分けると、吉祥寺駅周辺とその周辺の住宅地に分けられます。吉祥寺駅周辺のまちづくりはかなり進んでまいりました。ご案内のとおり、京王の駅ビル、J R の駅ビル、そして南北につながる 16 メートルの南北通路の整備をしており、いずれもそれが来年春に完成予定ですので、見違えるほど駅周辺が変わると思っています。同時進行で、吉祥寺駅の北口広場を駅舎の工事に伴い若干狭めて暫定利用していますが、それをもとの広さに戻し、その際広場のプランターをはじめ、きれいに整備します。マナーポイントについても移設したいと思っています。

それから、南口の駅前広場については、今地権者の皆様にご協力をいただいて、なるべく早期に用地の提供をいただきたいと思います。が、現時点では、約 6 割の用地買収が進んできたところでございます。また地権者の皆様の中には、単なる広場をつくるだけではなく、この一帯の再開発ができないかどうかということで、他の方々と再開発について研究を始めている方々もいらっしゃいます。建物の老朽化と併せて、駅周辺の街区整備も必要だと思っておりますので、その研究の経過も見なければいけないと思います。

また、道路を渡りますと公会堂があります。場所もいいので利用率が高いのですが、残念なことにエレベーターがなく、構造的に新たに設置できない状況になっております。東京オリンピックのときにできた建物でございますので、50 年近く経っています。やがては建て替えないといけないのですが、公会堂だけの建て替えではなく、南口全体での再整備の中で





ニューアルできないかと考えております。

さて、住宅地の中のお話をしますと、末広通りについては、この間、モール化を進めてまいりました。商店が連なっているところまでは電線を地中化し、モール化の整備は終わっていましたが、このたび、井の頭通りまでの地域についても整備をスタートしたところでございます。いろいろな地中化工事もあわせて行いますので、工事期間はあと2年ぐらいかかりますが、このコミセン近くまで電線のない道が実現できると思っています。

他の路線でも電線の地中化を進めております。丸井の西側の七井橋通りについては、井の頭公園に入るメインの通りの一つだと思っており、例えばいせやが現在、建て替えをしておりますが、その前の道をもう少し広げて豊かなモールにならないかということで、整備をスタートしているところでございます。電線の地中化をしたのちは、タイルを張ってきれいにするだけではなく、できれば緑を増やしたいと思っています。井の頭公園の緑や池の水で冷やされた空気を駅のほうに持って来られないかということで、七井橋通りを緑いっぱいな風道として整備していきたいと思っております。

また、さらに住宅地の中には、小学校、保育園、コミセンなどがありますが、これらの基本的な施設を除くと公共施設が少ないのではないかと思います。これからの課題としては、学校がこれから老朽化していく中で、きちんとした建て替え計画を考えていかなければいけないと思います。その際に学校が子どもたちの空間であることは間違いありませんが、そこにどうやって地域のいろいろな機能を設けられるのか、設けるべきなのか、これについて議論を進めていきたいと思っております。

そして、この町内には南保育園等がございますけれども、今市全体で待機児を多く抱えてしまっております。この間、認証保育所や認可保育園の誘致をしてまいりましたが、それを上回る希望者がいらっしゃいます。残念ながら、今年の4月1日現在でも181名の待機児を出しておりますが、何とか待機児をゼロにしたいという思いから、今さまざまな施設誘致をはじめとして、具体的な計画づくりを進めております。

そして、災害の話についてですが、避難所としての小学校の機能強化の必要性はございますが、それを運営する組織がより一層活発な活動ができるような支援もしていきたいと思っております。2年前の東日本大震災のときにはこのコミセンが自ら避難される方の、一時避難所を開設していただいたという大変すばらしい取り組みがあり、他のコミセンの参考となっているわけですが、それを踏まえてコミセンはいざというときの地域の支え合いステーションというような形で位置付けをしておりますので、このコミセンができることをもう一度お考えいただきながら、いざというときの準備をしていただけたらと思っております。

吉祥寺南町は武蔵野市の東の玄関口として、井の頭公園と一体とした豊かな住宅地としての装いもございます。ぜひこの恵まれた環境を最大限活かしながら、より一層皆様が暮らす上で、快適になるようなことをこれからもお考えいただきたいと思っております。

### (3) 「南町コミュニティ再発見」—提案型のまちづくりにむけて—

#### をテーマにした意見交換 (要旨)

#### 【司会】

グループが3つですので、1グループ25分を目途にグループごとに討論していきたいと思えます。特に1グループ、2グループのテーマについては今後ともコミセンで考えていきますので、話し足りないことも出てくるかもしれませんが、限られた時間を精一杯使ってお話し合いをしていただきたいと思えます。

(グループ討議のあと、グループ順に発表)

#### 【1グループ (南町のまちづくり (ハード面)) ファシリテーター報告】

1グループは外環問題が大きく取り上げられた。特に、外環の2といわれる、地上に東京都の都市計画として新たにもう一つ道路をつくるという案が出ているということに対して、住民のほうで反対意見が出ている。これに関しては、東京都などと3年に渡り、話し合いが持たれてきているが、市としてそろそろ答えをいただきたい。



パークロード

また、駅前の整備については、これから社会人になる若い方たちからの意見としても、南口のバス通りが危ないということ、公会堂の建て替えに関しては、そこに入る施設のことについて、いろいろ複合的な施設にしてほしいという意見、公会堂の建て替えまで待てないので、丸井などの他の民間ビルをうまく利用して、市の施設などを導入し、高齢化している南町の住民の方たちが十分市の施設を利用できるような形にしていきたいという意見が出た。

#### 1. 外環道路について

#### 【市長】

皆さん、議論ありがとうございました。多分時間が短かったですね。これで終わりではございませんので、このあともいろいろな声をいただけたらと思えます。

外環はこの地域の長い課題であります。現在では、外環の2について、話し合いの会をスタートいただいておりますけれども、なかなか進展をしていません。結論から申しますと、外環の2について、必要性はないとこの間ずっと言っておりますが、東京都のほうが、それでは、必要性の有無から議論をしましょうとおっしゃっていただいているので、この間地域の皆様にご参加いただいて話し合いの会を進めていただいているところでございます。それまでに具体的な資料として、東京都から必要性を示すものが明確化されていません。資料が出されない以上、私としては必要性はないということを言い続けるべきじゃないかと思っておりますし、何らかの資料が出てきたら、それについて十分に精査をして必要な反論を考えていけたらと思えます。外環そのものが地下化した理由というのは、地上部では無理という理由があるわけで、そういう経過があって、何でまた地上部に道路をつくるのかということは、到底地域の皆様は理解できないと思いま

すので、私としてもそのスタンスを保っていきたいと思います。

#### 【ご意見】

グループの中での議論もあり、市長も話されたように、東京都から必要だという理由、根拠、これが何も示されてこない。ただ四半世紀前に外環のその1とその2はそれぞれ別の法律で別の計画として決定されているという、その一言だけ言ってきている。これでは到底地元としては承知するわけにはいかないということで、議論が全くかみ合っていない。必要であるという理由が示されないのなら、必要がないということだから、市長は反対するとおっしゃった。これからも、明確に外部に対して、外環の2については反対であるということを書いていただけたらありがたい。

#### 【ご意見】

吉祥寺東町に住んでいる。外環の2に関しては地域を分断する道路なので、市長から反対していただきたい。

#### 【市長】

先月別件で都庁へ行った際、東京都の外環担当の局長、部長と会いました。その時も、基本的には必要性は認識していないという話をするとともに、現在話し合いの会でももう少し具体的な説明をしてほしい、具体的な資料を出してほしいという要望はしてまいりましたので、引き続きそのような態度で対応していきたいと思います。

## 2. 吉祥寺南口駅前広場整備について

#### 【市長】

吉祥寺駅南口の広場というのは、吉祥寺にとってこれからの大きな課題の一つであります。今、バス停が井の頭通りに並んでいるということと、それからパークロードにはバスや車が入り込んで歩行者と混乱した状況になっているということ、これらの課題を何とか解決しなければいけないと思っておりますので、南口広場はぜひ計画どおり開設していきたいと思っております。ただ、地元の地権者の皆様が再開発についての研究を熱心にされておりますので、その成果も近々伺うことになっております。そのお話も聞きながら、解決策を探っていきたいと思っております。また広場だけの問題ではないと思っており、周辺の街区で老朽化や耐震性の課題のあるところが多々ございますので、そういうビルの再開発、再整備を市としても促進するような、いろいろな策を考えていきたいと思っております。

また、先ほど、発表の中でありましたけれども、公会堂については、単に建て替えということではなくて、もう少し範囲を広げて考えるべきではないかと思っております。ご意見にあったような丸井の中に公会堂を入れるというのは難しいかもしれませんが、周辺のビルでも建て替え時期が迫っているところもあろうかと思っておりますので、そういうところと一緒に連携をするようなかたちで、単独の公共施設というより、いろいろな機能が合わさった

ものにする、そんな計画もあり得ると思っております。周辺の権利者の皆様といろいろな情報交換をし



武蔵野公会堂

ながら南口全体のまちづくりをこれからも考えていきたいと思います。

**【ご意見】**

一つの問題として、交通広場が暫定となっているように、また数年後には再整備をしなければならなくなるのではないかと心配だ。バスターミナルとしては、中途半端ということもあり、計画ができる前からぜひ住民の声を聞いてほしいというのが住民の非常に強い願いだ。

**【市長】**

基本的な面積や動線などは、ある程度専門家の方に案をつくってもらわないといけないと思っておりますので、一定程度の条件を整理した上でぜひ皆様にも意見を聞いていけたらと思います。今お話いただきましたけれども、実は南口の問題は、交通広場を整備しただけでは解決しません。つまり、面積的には南口の駅前広場の面積は大変狭く、したがって、井の頭通り沿いに並んでいるバス停を全てこの南口広場で吸収できるかという、できない状況です。したがって、今想定をしておりますのは、北口から南口一帯を含めて交通機能的なものが整理ができないかということです。例えば、羽田だとか成田に行くリムジンバスの乗り場は道路沿いですね。ああいうところも含めて、もう少し広域的な広場整備というものを考えていきたいと思います。

**【ご意見】**

南口の再開発について、まだ全然進んでいないというか、市の計画としては止まったままだと聞いたので、これから市役所としてどのようにこの問題について取り組んでいくのかお聞きしたい。

**【市長】**

南口は止まっているわけではなくて、用地買収交渉をしているところです。現在は、60%を超える方に協力いただいていますので、今後も鋭意努力をしていきたいと思います。もう一つは地元の方が今一生懸命研究をされているので、その推移も見守らないといけないというスタンスです。あわせて、駅前広場の問題は南口の駅前広場だけじゃなくて、もう少し広域的に考えなければいけないという課題もあるので、それは同時進行で市のほうも条件を整備していこうというような段階です。



**3. 民間施設内への公共施設の合築について**

**【ご意見】**

丸井の上を使っていたきたいと申し上げているのは私だが、武蔵境や三鷹の駅前にはすぐそばに市政センターがある。吉祥寺だけは少し遠い。年をとると、歩くことが大変なので、ぜひ駅前につくっていただきたいということを早急をお願いしたい。公会堂の建て替えについては、私の年齢では待ってられない。また南町は何も公共施設がないので、そこに体操や音楽などができる多目的ホールも一緒につくっていただきたい。例えば、国分寺の駅ビルの一番上のところに市政センターと多目的ホールがつくられている。京王ビルは結構混んでいるから、年寄りがうろろろするにはちょっと危ないかなとは思っているので、丸井という例を出した。

**【市長】**

吉祥寺の市政センターは商工会館の中にあるので、便利なところかと思いましたが、遠いのですか。

**【ご意見】**

今は大丈夫だが、これから高齢化してくると少しの距離でも近いほうがよい。

**【市長】**

公共施設の位置はなかなか難しい課題がありますが、今まさに議論を進めております。一つの検討の柱として、現在、武蔵野市は人口が若干伸びつつありますが、この先10年以降は減っていくような状況があります。そういうときに、今抱えている公共施設をどう持ちこたえるかが大きな課題です。子どもたちの人数も減っていく中で、今のボリュームでの小中学校が果たして維持できるかどうかという話もあるので、そういうときに一緒にいろいろな公共施設の集約化も含めて再配置をしていくべきではないかと思っております。

おっしゃるとおり、建て替えをするような民間の施設も含めて、そこに必要な公共施設を入れ込めればという案もありますので、そういうことも注視しながら考えていくべきではないかと思っております。

#### **4. 東部地区への公共施設の配置について**

**【ご意見】**

武蔵野市といえば「吉祥寺」と代表されている。一部の人たちにとってはとってもいい街なのだろうと思うが、住んでいる者たちにとっては、利益はあまりないので、このところ、人によって、特に女性は、武蔵野の中の過疎地域だと言っている。

**【市長】**

吉祥寺は住みたい街と評価をいただいていますけれども、お住まいの方はそうかなと思われるケースがあるかと思っておりますので、こういう場でいろいろな提案をいただけたらと思います。今日のご意見も一つの提案としてしっかりと受けとめて、公共施設を考えるときには単独ではなく、民間も含めて考えていきたいと思っております。

**【ご意見】**

今のことに関連してだが、学校の施設は開放されており、体育館など、私たちもお借りしている。だが、平日の3時45分以降と土曜日、日曜日しか借りられないので、平日に体育館をお借りしたいと思ってもできない。それに代わるようなものがあつたらと思う。

それから公会堂が建て替わる間の代替え措置として、どこかのビルに多目的ホールがあればいいと思った。

#### **【2グループ（南町のまちづくり（ソフト面） ファシリテーター報告）**

2年ぐらい前だったと思うが末広通りにある土地が寄附された。コミセンは他の地域からも人が集う機能があるが、それとは別に、生活区域の近辺で気楽に立ち寄って皆がちょっと雑談してお茶でも飲んでまた帰るとか、そういう一種の居場所のようなものをぜひつくってほしい。例えば、普通の家の縁側のような感じで皆が立ち寄れるようなもの、特に独居の人が立ち寄れるグル





ープホームのようなもの、せせらぎが流れていて、そこで足をつけたりできるようなものという提案があった。他にも、いろいろな活用の仕方が考えられるということで、いずれにしても公的な施設が少ないこの南町のエリアでそういうものをできるだけ早く実現させてほしい。

末広通りについては、車道と歩道の間に段差がある。それが斜めになっているから、普通であれば問題なくいけると思いきや、そういう段差はかえって滑りやすい。またコミセンの前に歩道橋があり、このグループでも意見が分かれたが、歩道橋は必要なのかどうかということをもう一度ご検討いただくとともに、この歩道橋を渡ったコミセンの前に木があるが、ちょっとした突出物が道路にあると見晴らしが悪いので、この一帯の整備について検討いただきたい。

## 5. 末広通り沿いの市有地について

### 【市長】

末広通りの土地の話というのは、末広通りを駅からずっとコミセンのほうに来るときに、途中にある300平米程度の空き地ですね。この土地は数年前に所有者の方から寄附のお申し出をいただきました。その土地自体はその方の奥様のご両親が住んでいたところですが、相続された方々は、こちらとは縁がなく、両親がお世話になったので地域の方に役立つ施設を作っていただきたいということで寄附をいただきました。寄附の目的は「老人福祉施設、緑地、駐輪場、憩いの場または災害時の避難場所など、市民の利用に供するため寄附します」ということです。市としては、今までなかなか適した利用方法がなかったという現状であります。

したがいまして、行政課題の解決のために例えば何があるかということ、今の一番の課題は保育園の開設です。そういう保育園用地としての可能性があるかということを整理しています。ただ、保育園をつくるには、面積的に少し狭いので、どんな使い方がいいのかはぜひ皆様から今後ご意見いただきたいと思えます。

居場所という話がありました。当然コミセンも大きな居場所ですが、テンミリオンハウスなども居場所の一つではないかと思っております、あるいは地域の方が任意に自宅の一室を提供されて定期的に居場所として開放されているところもあります。また商店街の建物を開放して、居場所としてお使いいただいているところもあるということで、市内には30から40ぐらいの居場所があります。居場所を公的につくっていくべきなのかどうかも含めて議論しないといけないと思えます。

例えば空き地があったので、居場所をつくりましょうということになりますと、私のところでもぜひつくってくれということになったときに、とてつもない数になっていきます。だから、その仕組みづくりをしないと、ここに空き地があるからすぐ居場所をつくるということではないのかなと思っております。

### 【ご意見】

介護に当たっていらっしゃる方に聞くと、ゆとりえにお願いしても、ショートステイもデイサービスもいっぱいらしい。吉祥寺南病院も大きくなるので、ゆとりえとも提携してその土地にそ

ういう施設をつくっていただきたい。今はみなさんどうにか介護をされているが、老老介護もほんとうに大変になってくるので、ショートステイとかデイサービスでちょっと休んでリフレッシュしてまた介護に当たる。これは女性ばかりでなく男性の方にも起こる問題だと思う。ゆとりがあれば、皆さんの集まる場所を広場にしよう方がいいのかもしれないが、もっと切実な問題のほうを先にしていただきたい。

#### 【市長】

少子高齢化の状況はしばらく続くというふうに思っています、全体の人口は増えていかないけれども、しかしその中でも高齢者の人口は増加をしていきます。したがって、今の高齢者の施設だけでは到底対応ができてこないということもあるので、施設もつからないといけないし、かつ在宅でもいろいろな介護ができるような、そんな支援策も進めないといけないと思っています。まもなく次期の介護事業計画というのを立てますが、そういう中でもしっかりと議論をして、武蔵野市に施設がどれぐらい必要なのかをよく見積もって、必要な取り組みを進めていきたいと思っています。

### 6. 末広通りの歩道と車道の段差、歩道橋について

#### 【市長】

末広通りの歩道と車道の段差の話ですが、通常ですと歩車道の段差ということで、ある程度直角方向に立ち上げるのが通例ではありますが、斜めにしたため、どこでも行き来ができるけれども、逆に言うと滑りやすいという課題が起きてしまっています。この間、斜めのところに滑り止めを施したということも試行しているようなんですが、そのような使い方を含めて、どのような課題が今起きているのか、もう一回整理をして、とり得るべき対処方法について考えていきたいと思っています。



ただ、原則は、自転車というのは車道走行です。しかし、現実には車道のほうは車が来ますので、車を避けようと歩道に乗り入れたりするケースも多々あると思います。自転車は車道部分を走っていただくというのが原則であり、特に末広通りについては、基本的には歩行者の優先のモラルをイメージしたところがございますので、逆に言うと車の方にはなるべく遠慮してスピードを抑えて通ってもらう、そして自転車の人には歩行者に対して遠慮をしながら通ってもらう、そんな道にこれからもしていけたらと思います。

また、歩道橋については、原則新設をしないという方針になっております。既存の歩道橋については、老朽化次第順次撤去しているという方向ですが、今まで子どもたちの通学路として利用しているようなところについては、なかなかすぐに撤去することが難しいという課題もあります。横断歩道等の安全確保ができ、地域の皆様のご理解が得られた段階で撤去をしていくのではないかと思います。一例としまして、成蹊通りの一小の通学路として以前みそら歩道橋があり、撤去の際、いろいろな心配をいただきましたが、結果として横断歩道の位置をずらすとか、通学時間

帯にパトロールの方を配置するとか、そういうソフト的な取組みも行いながら撤去をして、今は特に課題を指摘されていないので、うまく撤去できたのではないかと考えております。行く行くはこの前の歩道橋も撤去ということになるかと思えます。

## 7. 積雪対策について

### 【ご意見】

雪の対策というのをしていただきたいと思う。この辺は東北地方ではないのであまりそういう雪の問題ということは考えられていないと思うが、昨年のように、雪がひどく降って凍ってしまうということもあるかもしれない。そういう場合に、日が当たらないところは何日間も雪が凍ってしまい、若い方はどうってことないと思うが、年輩の者にとっては厳しい。

日陰になっているような何日間も雪が凍ってしまうところでは、ごみ収集の際に、収集の車が凍った雪を溶かすような対策も、今後していただきたい。

### 【市長】

都市部では、雪に対する対策というのは実に希薄です。雪国ですと路面に常に水を流しつつ、融雪ができる道路構造になっていたり、大雪が降るとすぐ除雪車が出動して幹線道路を雪かきします。ところが、武蔵野市は除雪車を持っていませんので、職員がシャベルを背負って行くしかありません。そこで、一つは地域でそういう取組みをお願いできればと思っています。例えば落ち葉の問題もそうなのですけれども、まずはできるところをやっていただくと同時に、できにくいところ、危険なところ等については市役所にお問い合わせいただいて、市役所の除雪隊を派遣する。駅前広場等については、基本的には職員が早朝出かけて行って整備をしますけれども、なかなか各町の住宅街までは行くほどの人員体制もないものですから。ただ、危険な箇所については、それぞれ対応をしていきたいと思えます。

### 【3の1グループ（武蔵野市全体の課題） ファシリテーター報告】

最初に出たのは市民から見て行政マンの働きぶりがいまいちということで、行政改革として、給与のこと、駅前のイルミネーションなどの事業の見直しを考えていただきたい。

次に市役所は方針の転換をして人を育てることにお金を使ってほしい。福祉のこと等を市から依頼されて市民がやっていることが多いが、そういうところにお金を使い、市民参加の推進を大いにし、地域福祉活動や協働グループに勉強の機会を与えてもらいたい。それによって市民参加の向上が図れるのではないかということが挙げられた。

また、自転車について自転車専用道路が欲しいというご意見と、自転車に乗っている方、歩いている方のマナーについて教育がもう少しできるのではないかというご意見があった。無灯火だったり、タイヤのところに棒をつけて立ち乗りをするなどのマナー違反が目立つ。さきほどのお話で自転車は車道を通行するという話だが、武蔵野市は車道も広くないし、自転車で車道を走っていると怖いので、武蔵野市はこの車道を通ることについてどういうふうに考えているのかということをご回答いただきたい。それからもう一つは、自転車の中心部への乗り入れを禁止できないかというようなことが出た。

あと一つは、防災についてで、東日本大震災のとき、帰宅困難者をこのコミセンで受け入れた



が、コミセンの機能をもう少し支え合いに使えるのではないかと、備蓄品を分散させていろいろなところに置くのではないかとということが意見として出た。また、市民の皆さんは災害が起きたら一時避難場所に行けばいいんだと思っているようだが、実はそうではなく自宅で過ごせる人は自宅という「自助」についての広報をもう少しやっていただきたい。

## 8. 行政改革、市民参加、自転車問題、防災について

### 【市長】

職員についてのご指摘は申し訳なく思います。その都度、例えば「市長への手紙」等でご意見をいただきまして、状況を調査し、職員には改めて指導をしているところですが、個々の指導と同時に市全体で質の高い取り組みをしなければいけないので、接遇などのマニュアルを整備したり研修の機会を設けたりという取り組みは、繰り返してやらなければいけないと思っております。職員には市民の立場でいろいろ考えるようにと常々話をしておりますので、今後ともそのような指導をしていきたいと思っております。



財政面につきましては、武蔵野市も大きな課題があると思っております。いわゆる財政力ということで武蔵野市は他の都市に比べてすごく恵まれていると言われますが、これからの歳入を考えると、労働力人口が減っていきますので、市税の基本を担っていただく方が少なくなるということになります。そうすると、今の税の構造上、税収が増える要因がないので、現在は年間600億円ぐらいの一般会計予算ですが、これを上限としてもっと下がっていく中で、いろいろな新しい課題にチャレンジをしなければいけません。今やっている事業も工夫をして見直さないと新しい財源が出ないし、新しい施策に対応できません。皆様がおっしゃっているとおり、無駄を省くということもこれからも進めていきたいと思っております。

また、市民参加については大きな課題でありまして、いろいろな課題解決というのは職員だけではできませんので、地域の皆様に頑張ってもらっていただくことも必要です。市民参加を得るためにはこれからもいろいろな支援策を積み重ねていきたいと思っております。

自転車問題については、武蔵野市の大きな課題であります。一つは、駐輪場が足りなくて放置自転車が多かった記憶がありますでしょう。かつて吉祥寺駅は全国でワーストワンの放置自転車の数でありました。ところが昨年の調査によりますと、吉祥寺は放置自転車数100位。三鷹が80位ぐらいです。調査地点で申しますと、放置自転車がすごく激減しました。しかし、その放置自転車を調べているのがおおむね午前中の時間でございまして、つまり、通勤・通学客用の駐輪場はおおむね充足をしてきたのですが、午後からの買い物客の皆様の駐輪場が足りていないという課題があり、それを何とか解決しなければいけません。



自転車マナーの問題については、4年前から自転車安全利用講習会という武蔵野市独自の一般の人向けの講習会を重ねてきました。取り組みの成果とし

自転車安全利用講習会

て1万4,000人の方に受講いただいたということもあって、4、5年前に市内での自転車関連の交通事故というのが年間300～400件あったのですが、昨年の時点で150件ぐらいに減っています。ということから、警察に届けられる事故件数自体は減っているのですが、警察に届けられないまでもさまざまな事故に近いような出来事や危険な走行はまだ市内で見られるのではないかと思います。

一般の皆様向けの安全利用講習会のみならず、小学校では必ず安全利用講習会をやっています。中学生向けには、スタントマンが事故の再現を目の前で見せ、事故の生々しい現場を見ることによって、それぞれが安全運転しなければいけないという気持ちを持ってもらうというような取り組みをこれからも積み重ねていきたいと思っています。

また、武蔵野市内は大変狭い地域なので、多くの市外の方が自転車に乗って来られるということもあります。先ほど言った講習会の参加者というのは武蔵野市民に限定していませんから、市外の方でも武蔵野市内を走行する方には参加をしていただきルールを学んでいただきたいと思います。

自転車がどこを通るのかという話でありますけれども、市の個々の判断というわけではなく、基本的には車道が原則です。ただ、児童と高齢者については歩道も走行可ということになっています。ただ、実際問題、歩道といっても武蔵野市内の歩道というのはゆとりある幅員がございませんので、自転車が歩道を走る際には、歩行者が優先であるということで、歩行者がいらっしやったら一時降りるなど配慮をいただけたらと思います。しかし、出来る限り自転車が安全に走行できる環境を整備しなければいけないと思っており、広幅員の道路は往々にして東京都の道路でございますので、都道については積極的に自転車の走行環境整備の提案をしていきたいと思っております。

それから、中心部への乗り入れを規制すべきではないかというご意見をいただきました。吉祥寺については、確かにそのとおりだと思います。今、市の考え方も、駐輪場は駅に直結ではなくて、少し回りに設置をしていこうと考えております。

防災については、東日本大震災の経験を踏まえて地域防災計画の全面改定をいたしました。概要版がありますので、ぜひ機会があったら見ていただきたいし、間もなく防災に関するパンフレットを全世帯に配付する予定です。いざというときの手順だとか、いろいろなマニュアルがありますので、日ごろからそれを見て備えをしていただきたいと思います。

東日本大震災のとき、この南町コミセンは大変よいモデルになっていただいたのではないかと思います。今まではコミセンというのは防災計画上位置づけがなかったのですが、先ほど申し上げましたとおり、地域のいろいろな支え合いの場になっていただきたいと思います。特に避難所には全員避難ができませんし、そんな大きな避難所はございません。必要な人のみが避難所に行っていただく、家が揺れたけれども家具も特に倒れなくて大丈夫だった方は自宅の様子を見ていただきたいと思います。それを例えば支援するような拠点としてコミセンがあり得るのではないかと思いますので、コミセンにもこれからある程度の備蓄品等を備えさせていただいて、いざというときにはコミセンに蓄えた備蓄品を在宅で継続して生活されている方に配付をいただくとか、いろいろな役割を担っていただきたいと思っております。

### 【3の2グループ（武蔵野市全体の課題） ファシリテーター報告】

1グループと重複していることが多いが、それ以外のことについて報告する。今2桁ぐらいの人数のホームレスの方が吉祥寺にはいらっしゃるということだが、ホームレスへの福祉対策をしてほしいということ、吉祥寺は大規模な商店がどんどん出てきているが、もっと小さな商店を大事にしてほしいという意見があった。それから、コミセンの機能についてだが、災害時のみでなく、市内各コミセンを地域のまちづくりのための支え合いステーションにしてほしい、コミセンの存在や事業のことがあまり知られていないような感じがするので、そのためにコミセンをもう少しちょっと皆さんに知らせるようにしたらいいのではないかというご意見があった。

そのほか、地球環境についてのご意見として「地球1個分の暮らしをしよう」宣言へ、神田川の水量確保アピールについて、武蔵野市から「脱原発の発信を」というご意見があった。

## 9. ホームレス、コミセンのあり方、環境保護への取り組みについて

### 【市長】

ホームレスの問題は、ホームレスの方が市域を越えて移動されるケースもございますので、生活相談等も含めて、この課題は東京都と連携を取りながら取り組んでまいります。それから、小さな商店を大切にということですが、私は基本的に大賛成でありまして、吉祥寺らしさというのは、大規模店舗だけではなくてそれと連携をした小さな個店にあると思います。最近、その個店の個性がなくなってきたという課題があり、特に、駅に近いところではどうしても



サンロード

テナント料等が高いものですから、全国チェーン的な店に変わってきてしまっているという現状があります。その流れを変えるというのはなかなか難しいのですが、ただ少なくとも縁辺部については、まだまだユニークな店が出店をされているケースが多々あるので、そういう商店街としての魅力ある路線型商店街を守っていけるような支援策をこれからも考えていければと思います。

それからコミセンについては、地域の最大の拠点ではないかと思っています。ただ、40年前のコミュニティ構想をもとに展開されてきており、それぞれのコミセンの取り組みに差が出てきていますが、自主三原則（自主参加・自主企画・自主運営）がございますので市から意見を言いにくい面もございます。ただ、今日皆様からご意見をいただいたようなかたちで、コミセンを地域のいろいろなまちづくりの拠点にしていきたいと思います。南町コミセンはその面で先端的な取り組みをさせていただいているのではないかなと思います。これからも他のコミセンの先頭を切って、地域の問題解決の拠点として、議論を深めていただけたらと思います。

あわせて、武蔵野市内の全体のコミセンが今のままでいいかという、クエスチョンマークを出す人はたくさんいるかと思っています。どのコミセンが悪いという話ではなく、先ほど言いましたとおり、その根拠たるものが40年前のコミュニティ構想なので、今の時代に合っているのか、再度見直しが必要じゃないかと思っております。したがって、コミセンのあり方を議論する前に、武蔵野市においてコミュニティをどう考えていくのかということを議論した上で、コミセンの役割を再度考えていけたらと思います。

それから最後に、地球規模のお話がありました。CO<sub>2</sub>の問題は、我々一人ひとりが取り組まなければ課題解決になりません。したがって、この南町コミセンでは太陽光発電パネルを独自に増設されたということもありますので、各地域でできること、各個人でできることをぜひ進めていただけたらと思います。



井の頭公園の池

神田川の水量確保についてですが、神田川の水源地というのは基本的には井の頭池です。かつて井の頭池は湧水があったのですが、都市化の影響で地面に降った雨が地中に浸み込まなくなり、現在は湧水が減少したため、くみ上げた地下水で池を満たしています。そこで、武蔵野市も井の頭公園と協力し、湧水を復活させることを大きな目標として掲げております。現在、井の頭公園は開園95周年ですので、100周年に向けて湧水を復活させ、池をきれいな水で満たしていきたいと思っております。そのためには、市内中で降った雨を地面に浸み込ませていく取り組みが必要になり、武蔵野市はかなり頑張っています。家庭用の雨水浸透ますを設けていただいている家庭も多くなってきたと思っておりますけれども、各小中学校の校庭には大型の500～600トンの雨水貯留浸透施設を積極的に設けてきました。公園も可能な箇所では同じような施設を設けています。そして、道路の舗装は原則として透水性舗装に変えております。先日、降った雨がどれぐらい地下に浸透しているのかという概算を出しましたところ、実に7割は地下に浸透しているようです。あくまで計算上の話なので、もう少し精査が必要かと思っておりますが、武蔵野市のさまざまな取り組みによってそこまで雨水が下水に流れずに地下に浸透している、そういう循環型の都市になってきたのではないかと考えております。今後も取り組みを進めていけば、井の頭池も自然の湧水で満たされ、そこから流れる神田川ももう少し水量が豊かになってくるだろうと考えております。



雨水貯留浸透施設

最後に脱原発の話をしていただきました。私は基本的に原発に頼らない街にすべきだと考えており、脱原発を目指す首長の会に入っております。しかし、ここは原発から大変距離も遠いということもあって、私たちに何ができるのかということではありますが、私たちにできることは省エネなり、新しい再生可能エネルギーを利用するなりだろうと考えております。今後もこの取り組みを進めながら原発に頼らない社会をつくっていくべきだと思っております。

#### 【司 会】

まだ少し時間がありますので、全体でご意見がありましたらお願いいたします。

### 10. 自転車対策について

#### 【ご意見】

自転車のことで、自転車のスピード違反というのは何キロからなのか。また、無灯火については、車体の定期的点検もないといけないのではないかと。



**【市長】**

自転車は軽車両という車両なので、基本的には表示されているスピードが原則となります。ただ、車と同じようなスピードを出されると非常に危ないと思いますので、それはルールとはまた別のマナーの範囲です。マナーについては安全利用講習会のほうで伝えています。

それから無灯火は、これは違反ですので、警察の取り締まりを受けるかと思います。それから、点検整備については、車のように車検はございませんが、なるべく点検をしてほしいということで、自転車安全講習会に参加いただいた方には、自転車整備点検の支援をしています。

**【ご意見】**

自転車問題について、市は警察とはどういう関係になっているのか。私の今のイメージでは、この1週間だけでも警察官が堂々と歩道を走っている。当然武蔵野市としても警察とは話し合いをされているんだろうと思うが、一体これはどういうことか。

**【市長】**

原則をお話ししましたがけれども、場所によっては歩道でも自転車通行可の場所があるようです。ただ歩道を走れる場合でも徐行義務はあります。

**【ご意見】**

歩道に色を塗ってわかりやすくするような、もう少し現実的な対応があると思う。

**【市長】**

確かに大変わかりづらいですね。自転車が走れる場所を決めるのであれば、その走行空間がわかりやすいような表示が必要だと思しますので、警察と協議をしてみたいと思います。

## 11. 市民参加について

**【ご意見】**

私は学生だが、これまでタウンミーティングに何度か参加しているが、こういうふうには活力のある市民が集まって意見を言い合うということはすばらしい機会だと思う。しかし、タウンミーティングに参加したことで満足をしてしまって、家に帰って冷静になると、本日意見したことが次の日に解決されているわけではもちろんないので、何かこう虚無感を感じてしまう方も多くいるのかと思う。

やっぱり自分をもっと地域に関われたり、まちづくりに自分が一体となって参加していけたらこの虚無感はなくなるのではないかと思う。

市民の方は、行政の事業などで、「こういう集まる場所がある」、「こういうボランティア参加できる」ということを知らない人がとても多いと思うので、単純に市長から「今日出た意見に関係するボランティアを募集している」、「こんなことに参加できる」ということをわかりやすく発信してもらい、マッチングをはかっていくということができればいいのではないかと思う。

**【市長】**

このタウンミーティングで発言すれば終わりではなく、当然それは私が受け止めていろいろな施策につなげていくこともあるし、市民の方もそれを見守っていくと同時に、地域の皆様が頑張らないといけないこともあると感じられたんじゃないかと思っておりますので、それは地域の活動につなげていっていただけるものだと思います。地域には若い人の力が必要ですので、ぜひ地

域の取り組みに力を貸していただきたいと思います。

## 12. 子どもの「ふるさと意識」の醸成について

### 【ご意見】

南町に住んでいる。私は地域の子どもたちと関わりがあるが、子どもの教育というのは非常に大切だと思う。地域の小中学生対象にもっと自分の住んでいるふるさと意識というか、子どもたちがこの地域の一人の人間ということを意識するような、そういう教育をもっとしていただきたい。

例えば、三小では子どもたちと一緒に学校で野菜づくりやわんぱく相撲をやったりしており、そういうことを通してこの地域の子どもたちといろいろなことを話し合ったりしている。今日の新聞にもあったが、東北の子どもたちが発案して夏祭りを計画したり、街の活性化のことを子どもたち自身がやっている。今の子どもたちは勉強でほとんど余裕がないが、昔から子どもは地域で育てるという言葉があるので、やはり地域の方が地域の子どもたちと一緒にまちづくりを考えて、それを実行していく、そういうことを考えていただきたい。私は小学校2年生から6年生まで戦争だったので、若い人はおらずお年寄りが街にいたが、そういう人たちがその地域の子どもたちに一生懸命に関わっていて、そういう印象が今でも強くてそれが勉強になった。もう少し行政とあるいは学校、保護者、地域が一体となってそういう街の問題を考えるような機会をつくっていただきたい。



### 【市長】

子どもの教育についてはおっしゃるとおりで、地域の方が学校に行っていただき、子どもたちと交流を深めていただくというのが、子どもたちにとって地域のことを知る、ふるさと意識を醸成する大きな要因になってくると私も思います。したがって、その環境整備については、武蔵野市も学校に対しての働きかけや地域の皆様がもっと学校に行きやすくなるような環境づくりなど、教育委員会とも調整をしていきたいと思っています。地域の力なくして子どもたちはうまく育っていかないと考えますし、大人たちが黒子となって子どもたちを前面に押し上げるような、それも地域の力だと思っています。地域での教育という面では、これからも取り組みを進めていきたいと思っていますので、地域の皆様もぜひお力添えいただきたいと思っています。

#### (4) 閉会のあいさつ

##### 【吉祥寺南町コミュニティ協議会 小餅委員長】



本日は貴重なご意見ありがとうございました。

今回、南町コミセンとしては、グループ討議を入れた新しい取り組みで行って見ましたが、いろいろ不手際などありましたらお許しいただきたいと思います。

いろいろ提案がございましたけれども、やはりコスト面などもいろいろ提示していただいて、優先順位を市民に考えさせる、選択させるというようなことをしていくことが求められるかなと思います。先ほども出ましたけれども、何か決まってから市民に説明するのではなく、

市にも優先順位というものがあるだろうと思うので、さまざまな条件を提示し一緒に考えていくという方法がすごくわかりやすい市民参加じゃないかと思いますので、これからお互いに相談し合って、市民と行政と一緒に高まっていきたいと思います。そのことに本日のタウンミーティングが役立てたらいいなと思います。

##### 【市長】

皆様ありがとうございました。時間が足りなかったかもしれませんね。今日出た課題は報告書にまとめますけれども、ロングスパンでやる話だけではないと思うので、すぐ対応できるものは週明けにでも職員に対応させます。

あわせて、南町というのは、ほかの地区に比べると極めてコミセンの活動も活発で、他の模範にもなっているところがございます。先ほどコミセンをもっとまちづくりの拠点にというお話もいただきましたけれども、まさにそういうコミセンを目指してこれからも皆様の力を合わせていただきたいと思います。



今日これから本宿小と境南コミュニティ協議会の皆様が武蔵野プレイス前の広場で盆踊り大会をやるので、ほかの地域でどんなお祭りやっているのかを見に行かれて、大いにその地域の方々と交流していただき、武蔵野市内の中でのいろいろなつながりができればと思います。本日は皆様の大変貴重な意見をいただきましてありがとうございました。

## 2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針

(※アンケートでいただいたご意見、ご提案も含みます。また、同じ趣旨のご意見等については、一部割愛しています。)

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
1	吉祥寺駅南口再開発	パークロードの交通状況を改善してほしい。	パークロードの交通状況の改善、井の頭通りの渋滞緩和などを目的として、平成12年に南口駅前広場を都市計画決定し、事業を進めています。当該地の権利関係者の方々の生活再建等の課題もあることから、整備には時間がかかっていますが、今後とも、関係権利者の方々のご理解、ご協力をいただきながら、早期完成に向けた努力を続けます。
		公会堂の建替えについて魅力ある多機能施設にしてほしい。	公会堂は築後50年が経過し、老朽化やバリアフリー等の課題を抱えています。また、吉祥寺地区では他にも、吉祥寺駅南口の再開発、イースト吉祥寺のまちづくりなどの課題があります。公会堂の建替えについては、市全体における公共施設再編、文化施設の再整備の中で検討するとともに、現状を踏まえて、民間も含め吉祥寺のまちづくり全体を視野に入れた検討を行っていきます。
		南口駅前開発について計画ができる前から住民の声を聞いてほしい。	市では、計画の策定や事業の実施にあたり、様々な形で市民の方のご意見をお伺いする機会を設けています。吉祥寺駅南口についても、都市計画決定している交通広場の整備を進めるとともに、市民、事業者ほか関係機関の方たちのご意見を参考に、あらゆる角度から南口全体のまちづくりを研究してまいりたいと思います。
2	外環道路	外環の2(地上部街路)について都への計画廃止の申し入れをしてほしい。	現在、東京都が設置した「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」の中で、外環の2の必要性やあり方について、地域の方々と話し合いを進めているところあり、市はコミュニティや交通等の問題、外環の2の整備効果などについて東京都から具体的な説明を受けたくうえで、その内容を精査していきます。
3	公共施設	南町の公共施設を民間施設の中へ入れてほしい。	公会堂の建替え、吉祥寺南口の再開発、イースト吉祥寺のまちづくりなど、様々な課題を含め、吉祥寺駅周辺全体を面としてとらえ、公共施設の問題を検討しています。またその際には、ご意見にあった民間活力の活用も検討してまいります。
4		市の東部は公共施設が少ない。体育館などの運動ができる施設がほしい。	市立小中学校の校庭・体育館などの学校施設については、学校事業に支障のない範囲で利用することができます。公共施設については、「公共施設配置の基本的な方針」に基づき、適正な配置を推進していきます。
5	末広通りの市有地	末広通りに面した市有地について認知症高齢者のためのグループホームを作してほしい。(その他ビオトープ公園化してほしい、「居場所」をつくってほしい。とのご意見がありました。)	公共施設の設置については、その必要性だけではなく、候補地の面積や立地条件等も重要な要件となります。現在、当該地の利用方法は決定していませんが、今後も市民の方のご意見を伺いながら、各施設の必要性も踏まえ検討を進めていきます。



番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
6	道路の整備・管理	南町コミセン前の歩道橋は必要なのか。	既存の歩道橋については、老朽化次第順次撤去していく方針ですが、子どもたちの通学路として利用しているようなところについては、横断歩道等の安全確保ができ、地域の皆様のご理解が得られた段階で撤去をしていきます。歩道橋がある道路は井ノ頭通りですので、東京都の管理になりますが、学校、PTAと協議し、通学路として使用されている歩道橋のため残しております。
7		雪が降ったときの除雪作業員確保をお願いしたい。	降雪の際は、職員と委託事業者で、駅前等、交通量の多いところについて除雪を行っています。人員体制に限りもあるため、住宅街や、急ぎの場合などにつきましては、地域の皆様で助け合いの上、除雪にご協力頂きたいと思っております。
8		末広通りについて歩道と車道の間が斜めになっていて返って滑りやすい。工夫できないか。	末広通りは幅員が狭いため、歩行者の安全が確保できるよう、セミフラット式の歩車道分離としています。現状を確認しましたところ、滑り止めが剥けているところがありましたので、改めて、滑り止めの施工をしたいと思っております。また、今後、道路改良を行うに際しては、市民の皆様のご意見を踏まえながら、歩車道の形式を含めて構造について検討していきたいと思っております。
9	災害時の対応	東日本大震災のとき、帰宅困難者をコミセンで受け入れたが、コミセン機能をもう少し支えあいに使えるのではないかと。	地域防災計画(平成25年修正)で、コミセンを災害時地域支え合いステーションとして指定し、地域への情報発信、物資配給、相談、思いやりルームなどの役割・機能を、地域の実情や施設・設備の状況、コミュニティ協議会の活動状況などに応じて共助の体制を推進します。
10		市民の方は災害時に一時避難場所へ行けばよいと思っているが、自宅で過ごせる人は自宅でということをもっと広報してほしい。	地域防災計画において、災害後の自宅生活の継続を重要な課題としてとらえています。今後も、市報、地域での防災講話や訓練、各種広報媒体などを通じて積極的に広報していきます。
11	商店支援	吉祥寺は大規模な店が進出してきているが、もっと小さな商店を大事にしてほしい。	武蔵野市商店会連合会では、商店会の推薦及び利用者(市民等)の承認を経た良店を「ムーショップ」として認定し、ホームページや専用マップ作成で継続的にPRしており、市はこのムーショップ事業に対し、支援を行っています。そのほかにも、市は各商店が加入する商店街に対し、ハード、ソフトの双方から多面的な支援を行っています。
12	ふるさと意識について	地域の小中学生に「ふるさと意識」と「市民性」を培う場を設けてほしい。	小学校3・4年生の社会科では「わたしたちの武蔵野市」や「子ども武蔵野市史」などの副読本を活用して、自分たちの住む武蔵野市について学習しております。また、市民性を高める教育については、「自立」「協働」「社会参画」をキーワードに各教科や行事で取り組んでおります。特に総合的な学習の時間などには、環境、福祉、防災などの視点で市の施設や団体等と連携して取り組んでおります。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
13	自転車	自転車専用道を整備してほしい。	市内には、道路交通法や道路構造令等関係法規に合致する広幅員の道路が少ないため、自転車道や歩行者・自転車を分離した歩道の整備は難しいのが実情です。自転車安全利用講習会等の啓発活動もあって、ルールやマナーが自転車利用者に定着しつつありますので、歩行者・自転車・自動車が安全で安心して共存できる道路環境を目指し、ハード、ソフトの両面から自転車通行環境の整備を検討していきます。
		自転車の駅中心部への乗り入れを禁止してほしい。	交通規制という面では、交通管理者である東京都公安委員会が管轄する事項のため、市が直接的に対処することはできませんが、当該要望について警察にお伝えします。市としては、駅周辺における交通錯綜を回避するため、公共駐輪場を駅から少し離れた場所に設置しています。
		自転車利用者へマナーの再確認をしてほしい。	小学校を対象とした「自転車安全教室」、中学校での「スクエアードストレイト(スタントマンによる事故再現)方式の交通安全教室」、中学生以上の自転車利用者を対象とした「自転車安全利用講習会」、等、幼児から高齢者に至るまで、段階的かつ体系的な交通安全教育の推進に努めており、今後も引き続き行っていきます。
		自転車が歩道通行可能な部分については、わかりやすいよう歩道に色を塗るなどの対応ができないか。	道路交通法上、自転車は車両の一種(軽車両)に位置付けられており、車道通行が原則で、歩道通行は例外となっています。また、市内には、道路交通法や道路構造令等関係法規に合致する広幅員の道路が少ないため、自転車道や歩行者・自転車を分離した歩道の整備は難しいのが実情です。自転車が歩道を通行する場合は、歩行者に気をつけながら安全運転を行う必要があります。自転車が通行可能な歩道に色をつけ、識別できるようにすることは、かえって自転車が歩道を通行する際の誤解を生じる可能性があるのではと考えています。自転車走行のルールやマナーの啓発等については、交通事故を未然に防げるよう今後も様々な工夫を検討していきます。
		自転車利用者の違反の取締りを強化してほしい。	武蔵野警察では自転車の交通違反の減少を図るため、自転車指導警告カードを交付するなどの街頭指導を行っており、「指導警告に従わず違反行為を継続する」「歩行者に具体的な危害・危険を与える」などの悪質性の高い交通違反については、交通切符を適用し検挙措置を行っていると伺っています。また、三鷹駅北口を自転車対策重点地区・路線に指定し、平成24年2月から毎月10日の交通安全日に市道第16号線(かたらいの道)周辺の自転車利用者に自転車ストップ作戦を展開し、自転車の正しいルール順守とマナーの向上を目的に指導・警告を実施しています。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
14	コミセン	市内各コミセンを災害時のみで無く、地域のまちづくりの為に支えあいステーションにしてはどうか。 そのためにコミセンをもっと地域の人に知らせるようにしたらどうか。	コミュニティづくりの目的は、快適で住みよいまちづくりですので、コミセンには、地域のまちづくりの為に支えあいステーションとしての役割・機能があります。 コミセンの周知については、コミュニティ協議会と協力しながら、様々な媒体・手法で行ってまいります。
15	ホームレス対策	ホームレスへの福祉対策をしてほしい。	ホームレスの方から生活相談があった場合には、生活保護制度の案内も含めて対応し、一時的居所として無料低額宿泊所等を利用して頂いています。
16	環境	CO2削減や環境の改善などのため、「地球1個分の暮らしをしよう」宣言をしてはどうか。 武蔵野市から脱原発の発信をしてほしい。	持続可能な社会形成のため、地球規模の食糧、エネルギー、森林等、様々な資源の大量消費の抑制をめざし、本市ができる取り組みを実行していくことが重要であると考えています。 そのため、現在、市域におけるエネルギーの効率的活用に関する検討や廃棄物の発生抑制・資源化の推進等の施策を展開するとともに、むさしの環境フェスタ等の環境啓発事業において市民への普及・啓発の取り組みを行っています。
17		持続可能な地域基盤の維持のため神田川の水量確保アピール化をしてはどうか。	神田川の水源地は井の頭池で湧水が流れていましたが枯渇し、現在は井戸水を流しています。神田川の上流域である武蔵野市では、雨水を地下に涵養する雨水浸透施設を公有地・民有地に設置しています。これは井の頭池の水量復活が期待されており、今後も積極的に設置を進めてまいります。
18	タウンミーティング	タウンミーティングで出た意見について、この場でマッチングを行ってもらえたらと思う。	タウンミーティングは市民と行政が「同じ目線」「双方向」で地域の課題や市政全般について意見交換を行う場としてスタートいたしましたが、参加される皆様同士のつながりの場ともなるよう、運営について検討してまいります。
19	行政改革	職員の働きぶりがいまちなので、行政改革として給与の削減などに取り組んでほしい。	職員には経験年数や役職に応じて、適宜適切な研修を実施し、その資質向上に努めています。 また、国の人事院勧告、東京都の人事委員会勧告に基づいた給与適正化の他、職員数や様々な見直しを行い、過去5年で職員給与費約15億円を削減しています。
20		行政改革として駅前のイルミネーション事業の見直しなどをし、福祉や市民活動の人材を育てることに金を使っほしい。	市では、行財政改革を推進するための基本方針とアクションプランを定め、常に既存事業の必要性や効率性に注視し、経常経費の歳出抑制に努めています。例えば、平成25年度予算に向けた予算編成では、事務事業・補助金見直しにより4億483万円の経費削減を行い、これによって生まれた財源を、健康・福祉サービスや子育て支援など、優先度の高い施策・事業に振り分けています。

### 3. アンケートでいただいた感想

(※アンケートの自由回答欄でいただいた感想のうち、主なものを掲載しています)

1	市長・市民・市職員が皆平等の立場で話し合えたことを強く感じた。
2	今回のタウンミーティング、グループ討議を含め市民と市長の全体討論、提案型の事前提案書、タウンミーティングの新しいころみ大変良かった。
3	ワークショップのような形式のタウンミーティングは他地域でもやっていただきたい。市民が考え、行動につなげるような機会をつくることは大切。これからは相互理解、合意形成のためのゆるやかな場づくりが必要なのでは？市民協働分野では、意見交換がしやすく、提案や実践ができる場づくりを意識してほしい。(次回の)別のタウンミーティングでは行政のワンストップサービスや市民協働について取り上げてほしい。
4	ワークショップ形式は非常におもしろかったです。「市民と市長」だけでなく「市民と市民」も関わられたので。
5	住民と行政の意思疎通を図るツールとしては有用なものだと感じた。各課の担当が出席して個別の案件にもほり下げた話ができることよりよいのではないかと。市が行っている事業が住民に理解されていないために、住民が不満に感じているものもあると感じた。

# 第53回 市民と市長のタウンミーティング

皆さんが日ごろの生活の中で感じている地域のまちづくりや市政について、市長と意見を交換する会です。

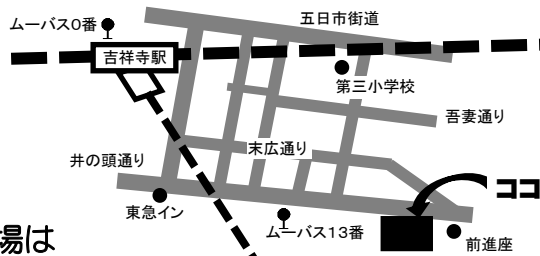
今回は、あなたの意見を『提案』というかたちで、「どうしたら実現可能になるのか」「その結果どのような成果が得られるのか」までを考えて持ち寄り、話し合います。

## 南町コミュニティ再発見 — 提案型のまちづくりをむけて —

**開催日** 8月17日(土)

**時間** 午後2時  
～4時30分  
(開場 1時30分)

**場所** 吉祥寺南町  
コミュニティセンター



お車でのご来場は  
ご遠慮ください。

武蔵野市吉祥寺南町3-13-1  
電話 0422-43-6372

主催 武蔵野市・吉祥寺南町コミュニティ協議会

問い合わせ 武蔵野市役所市民活動推進課

Tel0422-60-1829 Fax0422-51-2000

# 第53回 市民と市長のタウンミーティング

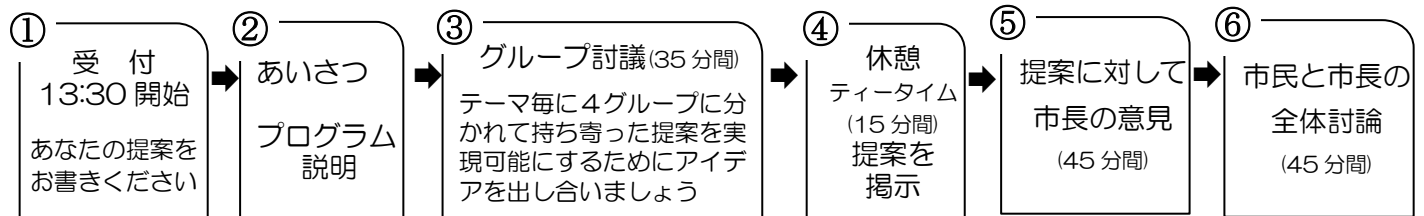
## 南町コミュニティ再発見 — 提案型のまちづくりにむけて —

あなたが日ごろの生活の中で、こうであってほしいと思っていることを、提案してください。今回は意見だけを言う場ではなく、提案からその成果までを考えたいみんなで討議し、実現可能なかたちにしていける場にしていきましょう。

下記の用紙、または南町コミセン窓口にある用紙に提案等を書き込み、南町コミセン、または市役所市民活動推進課にお届けいただくか、FAX(コミセン 43-6364、市民活動推進課 51-2000)でお送りください。当日、書いて出すこともできます。

また、当日参加できない方でご提案のある方も、下記の用紙でお送りください。(送り先等は上記と同じ)南町コミセン宛メール (minami-c@parkcity.ne.jp) でも受け付けます。※用紙はホームページから印刷できます  
討議に参加しなくても、傍聴することができます。奮って、ご参加ください。

当日の流れ



### 第53回 タウンミーティング 提案書

名前 \_\_\_\_\_ (無記名可)

提案	-----
↓	
目的	-----
↓	
方法	-----
↓	
成果	-----

#### 《例1》

提案：南町 3,4 丁目に池の設置 (市の公園)  
目的：・「生物多様性促進法」(新法)への準拠  
・吉祥寺地区の人間性回復の場設定と町の美化  
方法：場の設定⇒工事(市民参加型)⇒維持管理(市民による日常管理)  
成果：・生物生息環境創出  
・防災用初期消火機能  
・水生物の増加(魚・トンボ・水鳥など)

#### 《例2》

提案：吉祥寺から市役所へ行くバスを増便  
目的：誰もが市役所や体育館に行きやすくするため  
方法：バス増便、ムーバスのルート変更  
成果：東地域の人も、時間を気にせず、市役所に行ける

※ 提案以外は書けなければ空欄でも構いません

第53回

地域別  
市民と市長のタウンミーティング

報告書

発行 平成25年11月

武蔵野市 市民部 市民活動推進課

武蔵野市緑町2丁目2番28号

電話(0422)60-1829 (直通)